

「節分巻きずしの丸かぶり」の発祥に関する年表

江戸時代	大阪、和歌山、滋賀でみられた	大阪乾物問屋の 言 い 伝 え
幕末から明治の頃	1. 大阪船場の豪商が節分の日に遊女を連れて船遊びですしをかぶらせた 1. 遊女が巻きずしをかぶりながら願い事をしたら叶ったなどの諸説がある	すしの事典
江戸時代の末期から 明治の初め	大阪の船場で始まった 大阪海苔昭和会	大阪中央卸売市場 乾物卸組合
江戸時代の末期もし くは明治の始め頃	1. 大阪の中心地船場が発祥地 1. 江戸堀の芸妓さんが丸かぶりをした時に好きな人と一緒になれたことが由来という説もあります	大阪府 鮓 商
大正期	この風習自体は大正期にあったという声があり	すしの事典
昭和戦前期	すし組合の宣伝ビラが残っている	すしの事典
昭和 28 年頃	海苔の販売促進のため消費者に広く伝えた	大阪海苔問屋
昭和 48 年頃	すし屋に海苔を納める時に配ったチラシがある	大阪海苔問屋
同じ頃 2 月 3 日	「幸運巻きずし売り出し」張り紙	大阪のデパート
昭和 49 年 1 月 26 日	大阪道頓堀「くいだおれ」前で街頭販売 以後毎年行う	大阪海苔問屋
昭和 52 年	「海苔祭り」「節分の丸かぶり」道頓堀の街頭販売のイベントがマスコミに取り上げられ 全国放送された	大阪海苔問屋
以後	「海苔祭り」「節分丸かぶり」宣伝、売り出し	全国主要都市 海苔業者
昭和 50 年代の おわり頃	名古屋で発祥の店 神戸の寿司屋の丸かぶりの繁盛ぶりを見て始める	東 鮓 本 店
昭和 50 年代以降	大阪のすし商組合や海苔組合・厚焼組合などの宣伝によって、世に広まった	すしの事典
以後	同上風習 全国区に	コンビニ業界